

## 第15回JAMS会員総会報告

事務局

第15回JAMS研究大会1日目(2006年12月2日)に会員総会が行われた。報告・審議の内容は以下の通り。研究大会をご準備いただいた舛谷先生、弘末先生並びに会場と開催費用への補助を提供して下さった立教大学に感謝申し上げます。

### 0. 議長選出

左右田直規会員が議長に選出された。

### 1. 事業報告に関する件

各運営委員より、以下の通り活動内容が報告され、それぞれ承認された。

#### (1)総務委員(鈴木陽一)

##### ①2006年度研究大会について

第15回研究大会は、2006年の秋から冬にかけて土曜・日曜の2日間、首都圏内で開催したいということであったが、舛谷先生、弘末先生のご快諾を得て、2006年12月2日3日に立教大学新座キャンパスにて開催されることとなった。また、会員総会も研究大会1日目に同じ会場で開催されることとなった。また、立教大学に会場を提供していただくとともに、開催費用への補助も頂いた。

##### ②規約について

前運営委員会は規約の見直しを考えられたようであるが、運用で解決できるところも多いと考えられるので、当面の間、現行の規約を維持しつつ検討を続けることとした。

この件に関連して、会員から議題が出されるかもしれない時期に会員総会の委任状を集めることは適切ではないのではないか、との疑問が出された。

##### ③連携研究会について

(これまで、マレーシアでは有志によるKL研究会が開催されてきたが)今年になると、日本マレー世界研究会、関西マレー世界研究会が相次いで創設された。研究会同士の連携が図れないものかワーキンググループをつくって検討している。

この件については、運営委員会は連携へ前向きなのかとの質問が出され、総務委員からは提案されている原則で合意できればと考えているとの回答がなされた。

##### ④除籍処分について

3年超の会費未納者が17名おり、請求を行っても連絡がとれないか、積極的な返答がない状況にあった。そこで、運営委員会では長期未納者について除籍とする決定を行った。

#### (2)会員情報委員(鈴木陽一)

2006年度6月頃に会員名簿の改訂版を発行する予定であったが、改正点も少ないと判断されたため、延期した。また、メーリングリストの管理を行った。

#### (3)会報編集委員(信田敏宏)

今年度は、35号を7月に、36号を10月に、発行することができた。ページ数はいずれも、56ページである。レイアウトについては、前年度までと比べて、大幅な変更になった。その最大の原因は、喜ばしいことなのであるが、多くの方々から寄稿してくれたおかげで、予想以上にページ数が大幅に増加したことにある。

なお、続く質疑においては、広報活動の一環として会報の送付先をもっと広げた方がよいのではないかとの提案がなされた。

(4)関東地区委員（弘末雅士）

今年度に入り、5月には山口元樹会員、7月には遠藤正之氏に報告をしていただいた。今年度の計画としてはできればまた開催したいと考えている。

(5)関西地区委員（信田敏宏）

前年度は今年の3月に網島郁子会員と加藤裕美会員に報告をしていただいた。また、今年度に入り、5月には加藤剛会員に3時間半に及ぶ報告をしていただいた。今年度の計画としてはできればもう1回ほど開催したいと考えている。

(6)ウェブサイト管理人（菅原由美）

前運営委員会の尽力によって3月にウェブサイトが開設された。運営委員会はこれをうまく引き継ぐと同時に、適宜更新していく所存である。適切に更新がなされていないところもあるが、早急に更新をしたいと考えている。

この件については、ニューズレターのウェブへの公開を発行と同時にすべきではないかとの意見が出された。対して、管理人からは、運営委員会で話し合われているが、1号遅れで公開しようとの話になりつつある、との回答がなされた。

## 2. 2005年度の収支決算および2006年度の収支中間決算に関する件

前会計委員（西芳実）、会計委員（菅原由美）より、表1、表2（本誌ページ）に基づいて会計報告が行われた。2005年度収支決算報告には監査委員（永田淳嗣）による監査結果も付され、審議の結果、承認された。

## 3. 2007年度の事業計画に関する件

各運営委員より、2007年度の事業計画に関する報告が以下のように行われ、審議の結果、いずれも承認された。

(1)総務委員（鈴木陽一）

①研究大会について

第16回研究大会は、原不二夫会長にお願いして、南山大学で開催する方向で進めている。従来の持ち回りの慣行に沿うと来年度は関西または中部地区での開催ということになる。予定の日時は2007年の秋から冬にかけて土曜・日曜の2日間である。その際、会員総会が1日目に研究大会と同じ会場で開催される見込みとなる。大会委員を任命する予定であるが、例年の方式を踏襲して、任命は2007年4月以降に運営委員会が行うこととしたい。

②規約について

前運営委員会は規約の見直しを考えられたようであるが、我々はまだわからないところ

も多いので、もう一年かけて洗い直しを行いたい。また、その過程で、規約の解釈に疑問が生じた場合には、運営委員会で検討の上、適切と思われる解釈をニューズレターで示すことにする。

③連携研究会について

研究会との連携関係構築を運営委員会で進める。来年度の会員総会では事業報告としてご承認いただきたい。

(2)会員情報委員（鈴木陽一）

2007年度6月頃に会員名簿の改訂版を発行する予定である。会員情報に変更がある際には会員情報委員にすみやかに届けていただきたい。

JAMSメーリングリストについては、引き続き運営していきたい。新規加入の希望者は会員情報委員まで申し込んでいただきたい。

(3)会報編集委員（信田敏宏）

来年度についても今年度同様に、7月、10月、3月の3回、会報を発行する予定である。編集方針については、基本的に今年度のスタイルを継承するつもりである。会員の皆様からの新たな企画や自由投稿を大歓迎しているので、ご協力をいただきたい。

(4)関東地区委員（弘末雅士）

2007年度についても2006年度と同様に活動を行うことを計画している。

(5)関西地区委員（信田敏宏）

2007年度には、従来どおり関西地区で研究会を開催したい。すでに内諾を得ている先生もいらっしゃるのので、適当な時期を見て、開催する計画がある。

(6)ウェブサイト管理人（菅原由美）

ウェブサイトの拡充に努める方針である。

この件については、独自ドメイン取得を考えるべきであるとの意見が出され、管理人からはその方向で進めたいとの回答が出された。

4. 2007年度の収支予算に関する件

会計委員（菅原由美）より、表3（本誌ページ）に基づいて2007年度収支予算案が報告され、審議の結果、承認された。

5. その他

以上の運営委員会提出議案の他に会場から提出された議案はなかったが、会員から運営に関する質疑があり、会計委員、運営委員長から以下のように回答がなされた。

質問：今年度決算が黒字となっているが、これを何かに活用することを考えているか。たとえばこれまでに蓄積してきた資料をネット上のデータベースに置いて会員のみの財産とするという方法もあるがどうか。

回答：剰余の活用については今後の会計の推移なども見ながら検討していきたいと考えている。

以上

表1 2005年度収支決算報告(単位:円)

前年度繰越金							180,346	①
2004年度以前会費後払い分							12,000	②
2005年度収入				2005年度支出				
	予算				予算			
会費	352,000		<b>253,000</b>	通常支出				
会報			1,000	会報	270,000		<b>292,316</b>	
利子			4	35号	(90,000)		(82,748)	
				36号	(90,000)		(79,655)	
				37号	(90,000)		(129,913)	
				研究大会	50,000		40,736	
				総会議案問い合わせ			(9,000)	
				研究大会案内			(22,264)	
				雑費			(9,472)	
				事務所経費	10,000		0	
				特別支出				
				会長選挙	35,000		15,937	
合計	352,000		<b>254,004</b> ③	合計	365,000		<b>348,989</b> ④	
2006年度収支差額 (③-④)							-94,985	
次年度繰越金 (①+②+③-④)							97,361	
次年度以降会費前払分							98,000	

表 2 2006 年度収支中間決算報告 (2006 年 12 月 2 日現在 単位 : 円)

前年度繰越金								97,361	①	
2005 年度以前会費後払い分								54,000	②	
2006 年度収入				2006 年度支出						
	予算	現 時 点 (2006.12.1)	年度末見 込み		予算	現 時 点 (2006.12.1)	年度末見 込み			
会費	340,000	180,000	<b>346,000</b>	<b>通常支出</b>						
				会報	270,000	140,000	<b>210,000</b>			
				35 号	(90000)	(71550)				
				36 号	(90000)	(68450)				
				37 号	(90000)	(0)	(70000)			
				大会関係諸 費	50,000	10,500	<b>20,000</b>			
				事務 諸経費	10,000	7,858	<b>15,000</b>			
<b>合計</b>				<b>合計</b>						
	340,000	180,000	<b>346,000</b> ③		330,000	158,358	<b>245,000</b> ④			
2006 年度収支差額 (③ - ④)								<b>101,000</b>		
次年度繰越金 (①+②+③ - ④)								<b>252,361</b>		
次年度以降会費前払分								<b>62,000</b>		

表 3 2007 年度収支予算案 (単位 : 円)

前年度繰越金		252,361	
2006 年度収入		2006 年度支出	
会費	173×2,000= 346,000	通常支出	
		会報	240,000
		研究大会	50,000
		事務諸経費	10,000
		名簿印刷・送付費	30,000
合計①	346,000	合計②	330,000
2006 年度収支差額 (①-②)		16,000	
次年度繰越金		268,361	

